

Lesson14

一般動詞/日が昇った。さあ出発だ。

The sun rose so let's hit the road.

動詞は文を構成する要となるとも**重要な品詞**です。**動詞**に関連したポイントには**動詞の使い方**に関する「**時制**」や、**動詞の性質**に関する「**自動詞と他動詞**」、「**動作動詞と状態動詞**」などがあります。このように**動詞**のポイントはいろいろありますが、その中でも「**自動詞と他動詞**」を理解することはとても大切です。**The sun rose so let's hit the road.**「日が昇った。さあ出発だ」では**自動詞**と**他動詞**の両方を使っています。

このレッスンを受講することで一般動詞について理解できます。

■ Topics

一般動詞/ The sun rose so let's hit the road.

- Topic1 動詞の活用**
- 現在形
 - 過去形
 - 過去分詞・ing形・原形
- Topic2 自動詞と他動詞**
- 自動詞
 - 他動詞
 - 注意すべき自動詞と他動詞
- Topic3 注意すべき動詞**
- 動作動詞と状態動詞
 - 群動詞
 - 使役動詞



Wrap-up

DVD版では練習問題の解説も行います。

The sun rose so let's hit the road.

Topic1

動詞の活用

英語の動詞は**時制変化**をします。それぞれの**時制**について**肯定文**、**疑問文**、**否定文**の作り方を紹介します。

●現在形

肯定文 : **They work at this factory.** 「彼らはこの工場に働いています。」

疑問文 : **Do they work at this factory?** 「彼らはこの工場に働いていますか？」

do を**文頭**につけて疑問文を作ります。

否定文 : **They do not work at this factory.** 「彼らはこの工場に働いていません。」

do not を**動詞**の前につけて否定文を作ります。

注意 : 3人称単数が主語の場合は動詞の語尾に **s/es** を付けます。

肯定文 : **He lives alone.** 「彼は1人で暮らしています。」

疑問文 : **Does he live alone?** 「彼は1人で暮らしていますか？」

does を**文頭**につけて疑問文を作ります。その際、動詞は原形に戻します。

否定文 : **He does not live alone.** 「彼は1人では暮らしていません。」

does not を**動詞の前**につけて否定文を作ります。その際、動詞は原形に戻します。

注意 : 3人称単数現在形の作り方 : "原形+s/es"となります。

例 : **live** → **lives**、**teach** → **teaches**、**try** → **tries**

●過去形

基本的に**過去形**は"動詞の原形+ed"となりますが、中には**不規則な変化をする動詞**もあるので注意が必要です。

肯定文 : **He called Mr. Lee yesterday.** 「彼は昨日リーさんに電話しました。」

疑問文 : **Did he call Mr. Lee yesterday?** 「彼は昨日リーさんに電話しましたか？」

did を文頭につけて疑問文を作ります。その際、動詞は原形に戻します。

否定文 : **He did not call Mr. Lee yesterday.** 「彼は昨日リーさんに電話しませんでした。」

did not を動詞の前につけて否定文を作ります。その際、動詞は原形に戻します。

●過去分詞・ing形・原形

・過去分詞：

動詞の**過去分詞**は**完了形**や**受身形**などを作るのに使われます。

We have already discussed the issue. 「私達はその問題はすでに議論しました。」

have + discussed (過去分詞) で**現在完了形**を作っています。

The property was sold to a Tokyo-based investment company.

「その不動産は東京に拠点のある投資会社に売られました。」

be 動詞 + **sold** (過去分詞) で**受身形**を作っています。

・ing形：

ing 形は**進行形**や**動名詞**などを作るために使われます。

進行形：**進行形**では進行中の動作を表します。

We are talking about the reform plan. 「私達はその改革案について話しているところです。」

be 動詞 (現在) + **talking** で**現在進行形**を作っています。

動名詞：**動詞**の **ing** 形を**名詞**のように使う用法のことです。

Do you like skiing? 「あなたはスキーをするのが好きですか？」

skiing が **like** (動詞) の**目的語**となっています。

Do you have any problems with using this software?

「このソフトを使うのに何か問題はありますか？」

with (前置詞) に **using** を付けています。

・原形

動詞の原形は**助動詞**や**不定詞**につける際に使います。基本的に**動詞の原形**は辞書に載っている、変化していない形のことです。**1人称単数・複数、2人称単数・複数、3人称複数**の**現在形**は**動詞の原形**と同じ形です。**3人称単数**の**現在形**は **s/es** を付けるので**原形**と同じ形ではありません。

James wants to stay here until the end of the month.

「ジェームスはここに月末まで滞在したいと思っています。」

不定詞の **to** に **stay** (原形) がついています。

This system can process data very fast. 「このシステムはデータをとても速く処理できます。」

process (原形) が **can** (助動詞) についています。

□ Topic2

自動詞と他動詞

自動詞は**目的語(O)**をとらない**動詞**、**他動詞**は**目的語(O)**をとる**動詞**のことです。

●自動詞：

目的語のない動詞（文型：SV型、SVC型）

We agree with his proposal. 「私達は彼の提案に賛成です。」

注意：agree with のように直接目的語をとらず、**前置詞を付ける動詞**は**自動詞**です。他にも、complain 「不満を言う」 や apologize 「謝罪する」 などが**自動詞**です。

注意：前置詞句をつけずに **We agree.** 「私達は合意する。」 と言うだけでも文は成り立ちます。でも、**自動詞**だけで表現できる内容は限られているので、うしろに何か**追加情報**が付くことが多いのが特徴です。

The cake looks delicious. 「そのケーキは美味しそうに見える。」

SVC型の**動詞**も**自動詞**です。後ろに**補語**がないと文が完結しないので**不完全自動詞**と呼ばれることもあります。

●他動詞：

目的語をとる動詞（文型：SVO型、SVOO型、SVOC型）

She bought a new cellular phone. 「彼女は新しい携帯電話を買いました。」

We gave him a tie for his birthday present. 「私達は彼の誕生日にネクタイをあげました。」

His song made us sleepy. 「彼の歌で私達は眠たくなった。」

注意：レッスン4のスコアアップで注意すべき**他動詞**を紹介していますので参考にしてください。

注意：**他動詞**は**目的語**をつけないと文が完結しません。

●注意すべき自動詞と他動詞

動詞には、**自動詞のみ**のもの、**他動詞のみ**のもの、そして**自動詞と他動詞の両方**の使い方があるものがあります。ここでは、自動詞と他動詞の両方の使い方があるもののうち、**似た意味**を持つ注意すべき動詞について紹介します。

rise 「昇る、上がる」(自動詞)、**raise** 「上げる」(他動詞)

The man rose when his name was called.

「その男の人は名前を呼ばれた時、立ち上がった。」

I raised my hand because I had some questions.

「私はいくつか質問があったので手を挙げた。」

lie「横になる、置かれている」(自動詞)、**lay**「横にする、置く」(他動詞)

The patient lay down on the bed. 「その患者はそのベッドの上に横になった。」

The man laid a book on the table. 「その男の人は本をそのテーブルの上に置いた。」

Topic3

注意すべき動詞

今までに紹介してきた動詞のポイント以外にも、**動作動詞**と**状態動詞**の違いや、**群動詞**(句動詞ともいう)と**使役動詞**はよく文法問題のポイントとなることが多いです。

●動作動詞と状態動詞

動詞の中には**進行形**にして使うことができる動詞、**進行形**にはできない動詞があります。**動作**を意味する動詞(**動作動詞**)は**進行形**にすることができます。一方、**状態**を意味する動詞(**状態動詞**)は基本的に**進行形**にできません。

動作動詞：

I am cleaning my room. 「私は私の部屋を掃除しているところです。」

状態動詞：

I love my family. 「私は私の家族を愛しています。」

●群動詞：

群動詞とは「**動詞+副詞(前置詞)**」という構成でできている**動詞の熟語**のことで、もとの**動詞**と違う意味を表します。例えば、**look for, turn on, get off**などが**群動詞**です。

The secretary was looking for something. 「その秘書は何かを探していました。」

look for「探す」(動詞+前置詞)

Last night, the radio turned on automatically. 「昨晚、そのラジオが自動的につきました。」

turn on「(スイッチなどが)つく」(動詞+副詞)

I got off the subway at Otemachi. 「私は大手町で地下鉄を降りました。」

get off「降りる」(動詞+副詞)

●使役動詞

使役動詞は「～に～させる」という意味になる**動詞**のことを言います。**make, let, have**などが**使役動詞**です。**使役動詞**は**過去分詞**、**現在分詞**を伴う形もありますが、ここでは「使役動詞+目的語(O)+動詞の原形」という**原形**を伴う形のみを紹介します。

・ **make** : **make+目的語(O)+動詞の原形** 「Oに～させる」

His song makes me feel sleepy. 「彼の歌は私を眠たく感じさせる。」

・ **have** : **have+目的語(O)+動詞の原形** 「Oに～させる。」

I will have a service representative call you as soon as possible.

「私は修理担当者にあなたにすぐに電話させます。」

・ **let** : **let+目的語(O)+動詞の原形** 「Oに～させる／～させてやる／～することを許可する」

The man let me stay the night at his place.

「その男の人は私に彼の家で一晩過ごさせてくれました。」

Let's have some drinks. 「何かいっしょに飲もう。」

注意 : **let us**+動詞の原形「私達に～させる」という表現は「(一緒に)～しよう」という意味で使われます。上の例文のように、**Let's**+動詞の原形という短縮形にして使われることが多いです。

スコアアップ!

(DVD版のみ収録)



例題 : This application does not _____ on some computers.

- a. work
- b. works
- c. worked
- d. working

does not につけ否定文を作る **a. work** が答えです。このように動詞の変化形が並んでいるときは正しい形の選択肢を選ぶのがポイントです。ここでは前に **does not** があるのがカギとなっています。**does not** には動詞の原形をつけるためです。**b. works** (3人称単数現在形)、**c. worked** (過去形)、**d. working** (ing形) は **does not** にはつけられません。

このように形式だけをポイントにする問題を解く際は、必要以上に読み込んで時間をかけすぎないことが大切です。

This application does not work on some computers.

「このアプリケーションが動かないコンピュータもあります。」

“Have” has a lot of meanings. 「have には多くの意味があります。」

have と言えば、まず **I have a cellular phone.** 「私は携帯電話を持っています。」などの所有の意味を思いつくのではないのでしょうか？ **have** は「持っている」という意味に使われますが、この持っている対象の範囲は非常に広いです。

I have a friend in Washington D.C. 「私はワシントンに友人がいます。」←友達がいる。

I have a question. 「私は質問があります。」←質問がある。

I have a cold. 「私は風邪を引いています。」←病気になる。

Do you have any plans for the vacation? 「休暇にはなんか予定ある？」←予定

Do you have batteries? 「電池ありますか？」←商品の在庫など。

I'll have coffee after dinner. 「私はコーヒーを夕食後に飲みます。」←飲む。

We are having lunch now. 「私達は今昼食を食べているところです。」←食べる。

などいろいろな使い方があります。少し変わった使い方としては、

My son said he didn't call me to ask for money. I think I was had. 「私の息子は私にお金が欲しいという電話はしていないと言っています。私は騙されたのだと思います。」

I will have my secretary send you the document. 「私は私の秘書にその書類をあなたに送ってもらいます。」のような使役動詞の使い方や

We have to understand how to use "have." 「私達はどのように have を使うのか理解しなくてはなりません。」などの助動詞のような使い方まであります。

このように **have** はいろいろな状況で使われますので、注意して覚えてください。

コーヒーブレイク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- 動詞は格や時制により変化するので変化形を覚えておくこと
- 他動詞には目的語がつくが、自動詞には補語や前置詞句がつくことが多い
- 状態動詞は進行形にしない



The sun rose so let's hit the road.

「日が昇った。さあ出発だ。」

主語 冠詞＋名詞 the sun 「太陽」	述語動詞 動詞 rose 「昇った」	接続詞 so 「だから」	述語動詞 使役動詞 let 「～させる」	目的語 代名詞 us 「私達を」	動詞句 動詞＋冠詞＋名詞 hit the road 「旅立つ」
--------------------------------	-----------------------------	--------------------	-------------------------------	---------------------------	--

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. The shipment hasn't _____ at the factory yet.
a. arrive
b. arrived
c. arriving
d. to arrive
2. The man was looking _____ a key to his room.
a. for
b. up
c. around
d. after
3. His song made me _____ to go back to my home country.
a. want
b. wanted
c. wanting
d. to want

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. Thank you very much for _____ me with my research project.
a. help
b. to help
c. helped
d. helping
2. The tourists _____ their baggage on the floor and waited for further instructions regarding their flight.
a. lied
b. laid
c. lay
d. lain
3. The manager _____ their mistake.
a. apologized
b. apologized for
c. apologizing for
d. apologize for

Explanation - Practice

1. The shipment hasn't arrived at the factory yet. 「荷物はまだ工場についていません。」

解説 : **b. arrived** (arrive 「着く、到着する」) の過去分詞が答えになります。 **hasn't** の後ろに過去分詞をつけ現在完了形の否定文にします。

a. arrive (原形) は **have/has** に付けることはできません。 **c. arriving** (ing 形) は名詞とも考えられるので **have**(一般動詞)の目的語になるという考え方もありますが、その場合の否定形は **hasn't** ではなく、 **does not have** を使って否定文を作ります。 **d. to arrive** を付けられそうにも思えますが、 **have/has to arrive** の否定形は **don't/doesn't have to arrive** と **not** をつける位置が異なります。

2. The man was looking for a key to his room.

「その男の人は彼の部屋のカギを探していました。」

解説 : **a. for** (前置詞) が答えです。 **look for** で「～を探す」という意味の群動詞になります。

b. up (前置詞) をいれ **look up** とした場合は「(情報など) を探す」(群動詞) となります。 **c. around** (前置詞) をいれ **look around** とすると「周りを見る」(群動詞)、 **d. after** (前置詞) をいれ **look after** とすると「～の世話をする」という意味になります。

3. His song made me want to go back to my home country.

「彼の歌は私に祖国に帰りたいと思わせた。」

解説 : **a. want** (動詞) が答えです。 **want to+** 動詞の原形で「～したい」という意味になります。また、 **make** には「**make+目的語(O)+動詞の原形**」という使い方があるので、ここは **want** (動詞の原形) が良いです。

b. wanted (過去形/過去分詞) は形としては入れられなくはないですが、 **me** が **wanted** (過去分詞) の対象になります。そうすると、意味が不自然になるため、この選択肢は選ばません。 **c. wanting** (ing 形)、 **d. to want** (不定詞) は **make** の目的語の後につける動詞としては付けられません。「**make+目的語(O)+動詞の原形**」の使い方をするからです。

Explanation - Homework

1. Thank you very much for helping me with my research project.

「私の研究プロジェクトを手伝ってくれてありがとうございます。」

解説 : **d. helping** (動名詞) が答えです。空欄の前に前置詞の **for** があります。前置詞は名詞や名詞に相当する語(句)の前におきます(レッスン 16 参照)。前置詞の後ろにつけるので **help** 「助ける」(動詞) を **ing** 形にして動名詞にします。 **help 人 with** ～で「人の～を助ける、人が～するのを手伝う」などの意味になります。

a. help (原形)、 **b. to help** (不定詞)、 **c. helped** (過去形、過去分詞) は前置詞につなげることはできません。

2. Tourists laid their baggage on the floor and waited for further instructions regarding their flight.

「旅行者達は手荷物を床に置き、彼らが搭乗する予定の飛行機に関しての今後の指示を待ちました。」

解説 : **b. laid** が答えです。**lay** 「置く」(他動詞)の過去形です。

問題文から、「旅行者たちが、彼らの手荷物を〜する」ということが想像できます。ここで、目的語の存在に着目します。**a. lied** は **lie** 「嘘を付く」(自動詞)の過去形です。自動詞なので後ろに目的語を直接つけません。**自動詞は目的語(O)をとらない動詞、他動詞は目的語(O)をとる動詞**です。用法的にも意味的にも入れることはできません。**c. lay** は **lie** 「横になる、置かれている」(自動詞)の過去形、または、**lay** 「横にする、置く」(他動詞)の原形と考えることができます。**lie** (自動詞)の過去形と考えた場合、後ろに目的語があるので入れることはできません。また、**lay** (他動詞)の原形と考えた場合、複数形の主語なので述語動詞として入れることはできますが、**waited** 「待った」と過去の意味になっているので入れることはできません。**d. lain** は **lie** (自動詞)の過去分詞ですが、後ろに目的語をとることもできませんし、過去分詞が単独で述語動詞になることはできませんので、この選択肢を選ぶことはできません。過去完了形の **had** をつければこの文に入れることができるようになります。

注意 : **lie** 「横になる、置かれている」(自動詞)と **lay** 「横にする、置く」(他動詞)は変化形にも注意が必要です。**lie** (自動詞)は **lie-lay-lain**、また **lay** (他動詞)は **lay-laid-laid** と変化します。

3. The manager apologized for their mistake. 「その部長は彼らの間違いに対して謝罪しました。」

解説 : **b. apologized for** が答えです。**apologize** は「謝罪する」という意味の動詞です。**apologize** は、その動作の目的となる語(目的語)を取りません。つまり、自動詞であるということです。自動詞なのでうしろに名詞をつける場合は前置詞をつけます。

a. apologized では後ろに名詞を直接付けることができません。**c. apologizing for** では **ing** 形の動詞しか文の中にないので、文の述語動詞になることはできません。進行形を作るには **be** 動詞を前につける必要があります。**d. apologize for** ですが、**the manager** が3人称で、3人称単数現在形の **s** が必要なのでダメです。